

国東つながる暮らし

kunisaki life

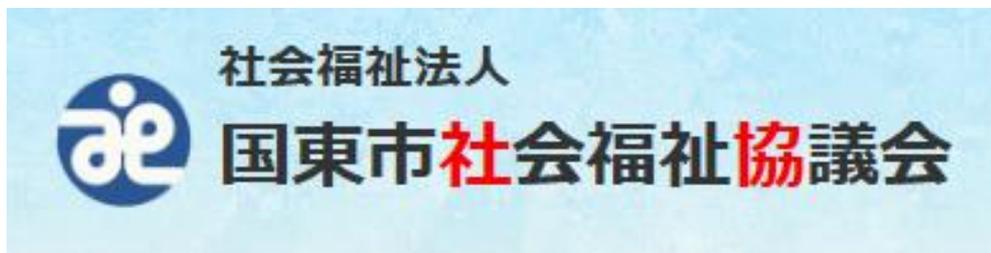
海・山・川・歴史、そして繋がる人々の暮らし

しーちゃんも
している
情報発信



(大分県) 国東市 地域づくり支え合い活動 共通WEBサイト “国東つながる暮らし”
社会福祉法人 国東市社会福祉協議会 松本 博晃 くにさき地域応援協議会 “寄ろう会(え)” 1

報告者



福祉支援課 係長 松本 博晃

【略歴】

- 2017年4月 国東市 第3層生活支援コーディネーター(国東市独自戦略)
- 2022年7月 国東市 第1層生活支援コーディネーター(～現在)
- 2024年6月 日田市 高齢者等移動支援体制整備事業アドバイザー(～現在)

報告内容

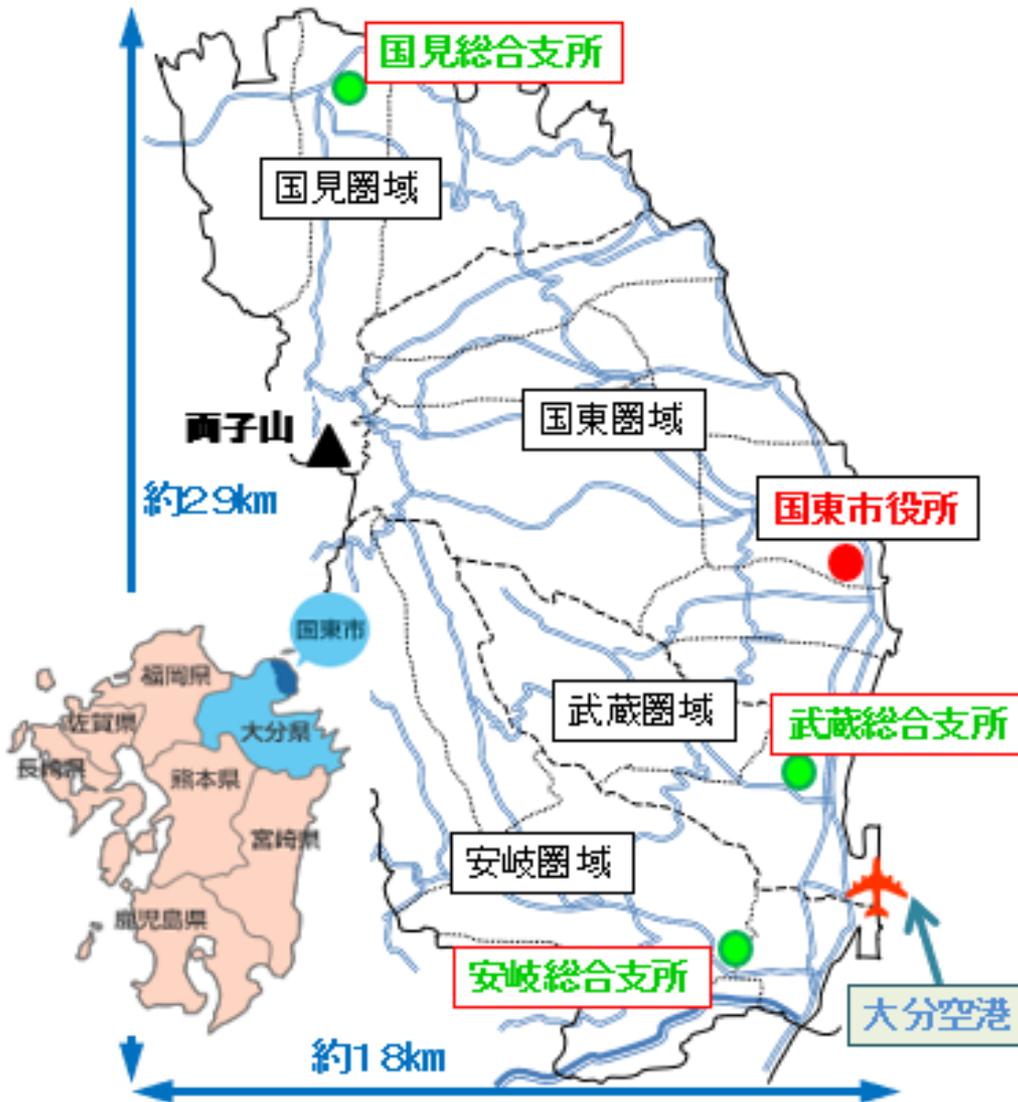
報告① “居場所づくり” から始まる “生活支援”

報告② “段階を踏んで” の “移動支援” の拡充

報告③ 支え合い活動のキツカケと立上げメニュー

報告④ 国交省 R6「共創・MaaS 実証プロジェクト」
「共創モデル実証運行事業」採択分 ご紹介

国東市の概要 (九州の北東部)



当市は、瀬戸内海に突き出ている国東半島の概ね東半分を占めており、北は周防灘、東は伊予灘に面し、西側は豊後高田市、南側は杵築市に接している。

また、国東半島特有の地形から多くの谷筋に住宅地が分断され、伊予灘に面する海岸線に国道213号線が通り、その周辺に住宅街や商業施設が形成されている。

(令和7年1月末現在)

○ 面積	317.84km ²
○ 人口	<u>25,047人</u>
○ 高齢化率	44.12%

(令和6年11月末現在)

○ 要介護認定者数	1,820人
○ 認定率	16.4%

(全国平均19.7%、県平均19.1%)

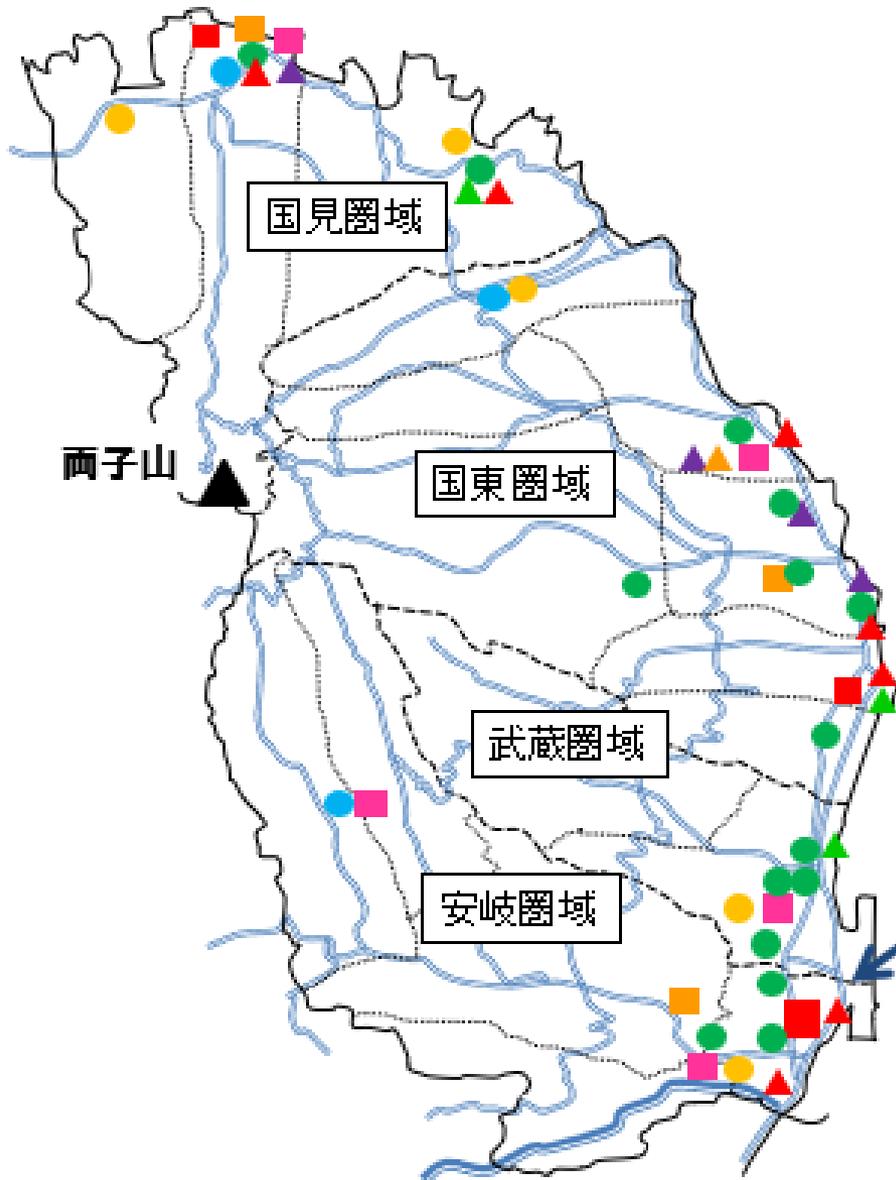
※県内(18市町村)で5番目に低い)

(令和6年4月末現在)

○ 介護保険料(基準額)	5,400円
(全国平均:6,225円、県平均6,235円)	

※県内で4番目に低い。

国東市の医療・介護 資源マップ



【医療資源】

■ 病院	3
● 一般診療所	15

【介護資源】

▲ 訪問看護	: 7	▲ 訪問リハ	: 3
▲ 訪問介護	: 4	▲ 訪問入浴	: 1
● 小規模多機能型居宅介護	: 3		
● グループホーム	: 5		
■ 介護老人保健施設	: 3		
■ 特別養護老人ホーム	: 5		

居宅介護支援事業所 : 15

国東市民病院（国保直診）

国道、海岸部に人口、商店、事業所等が密集しているが、**高齢者の多くは中山間部に居住している。**

地域公共交通の最適な組み合わせの推進

5-1. 安心して定住できる地域の実現

事業名	地域公共交通の最適な組み合わせの推進
事業概要	<p>定時定路線運行を行う路線バス・コミュニティバスにより市内の幹線の移動を担いながら、その補完的なサービスとしてデマンド交通、その他、地域コミュニティとの連携による新たな移動サービスの導入等の輸送資源の総動員により縮小化・個別化する移動ニーズへの対応を図る。新たな移動サービスとしては、スクールバスの混乗利用の可能性も含め検討する。また、これらの移動サービスについて、利便性と効率性に配慮し、適切な組み合わせを行うとともに、利用状況により適宜見直しを行う。なお、幹線の交通軸の路線バスについては、国の生活交通確保維持改善事業（地域内フィーダー系統確保維持事業）を活用し、持続的な運行を図る。</p> <p>■地域公共交通の組み合わせのイメージ</p> <p> 基幹的な移動サービス (路線バス) 基幹的な移動サービス (コミュニティバス) 補完的な移動サービス (デマンド交通) 補完的な移動サービス (地域コミュニティ による移動支援) </p>



出典：国東市地域公共交通計画 P93より

【参考情報】令和7年1月末現在
 市内路線バス：1営業所のみ。
 市内タクシー：5営業所。
 コミュニティバス（15路線）
 コミュニティタクシー（4路線）

海岸部：路線バス（毎日運行） 山間部：コミバス（週一回運行）

国東市内支え合い活動

8地区(※市内全16地区) 4行政区

第1層:国東全域(1ヶ所)

約25,000人

【※寄ろう会(え):年3回開催 1ヶ所】

第2層:旧町 (4ヶ所)

約3,000~9,000人

【※語ろう会(え):年1~2回開催
国見、国東、武蔵圏域 3ヶ所】

第3層:旧小学校区(16ヶ所) 約400~5,000人

【※生活支援(カフェ、ミニデイ)・協議体 8ヶ所】

第4層:行政区(130ヶ所)

約20~600人

【※週一体操(35ヶ所):目的 運動機能向上】

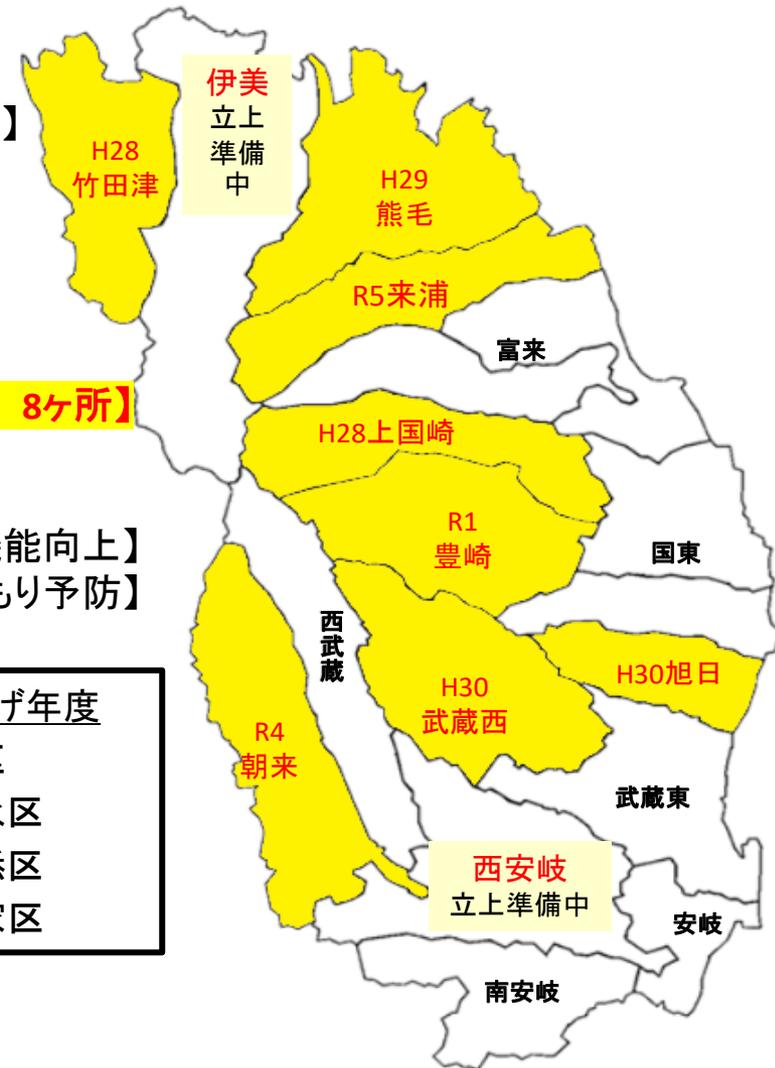
【※サロン(168ヶ所):目的 閉じこもり予防】

地区公民館単位:立上げ年度

H28:国見町竹田津
国東町上国崎
H29:国見町熊毛
H30:国東町旭日
武蔵町武蔵西
R1:国東町豊崎
R4:安岐町朝来
R5:国東町来浦

行政区(自治会)単位:立上げ年度

R3:国東町富来地区松原区
安岐町西武蔵地区富永区
安岐町南安岐地区大添区
R5:国東町国東地区今在家区



【令和7年1月末現在】

国東市

支え合い活動

“居場所づくり” から始まる “生活支援”

ご報告

国東市 支え合い活動 “居場所づくり”【映像:10秒】



①安岐町朝来 **カフエ**(月4回)地区公民館(旧小学校区)：R5.1/15開始

国東市 支え合い活動 “居場所づくり”【映像:12秒】



②送迎付食事会(月2回) “朝来ミニデイ” R5.4/16開始 体操・レク

国東市 支え合い活動 “居場所づくり”【映像:12秒】



②送迎付き食事会 “ミニデイ” (月2回) 会食

 朝霧とほたるの里朝来ネット(@asaku.hotaru)・Instagram写真と動画

国東市支え合い活動 “居場所づくり・生活支援” **【映像：16秒】**



②送迎付き食事会“ミニデイ”（月2回）送迎

ステップ① 居場所を通じた送迎支援

【映像：45秒】



自宅と地区公民館(旧小学校区単位)「居場所に来てほしい！」

ステップ② 居場所を通じた買物支援【映像：3分】



R6.2.7 あらたに買物ツアー



あらたに会(@kamikunisaki_aratani) • Instagram写真と動画

あらたに会：居場所を通じた買物支援

【団体名】サポートセンターあらたにカフェ(スタッフ数:53名)

【活動開始時期:平成28年1月～ ※約8年が経過】

【主な活動】

- 居場所づくり:カフェ(月16回)、ミニデイ・送迎付(月2回)
- 生活支援「ちょい加勢」:買物・通院支援、草刈り他(随時)
- スマホ教室(月2回)
- イベント:フットパス



ミニデイ・体操



カフェ

あらたに会の生活支援の歩み

【①活動開始】平成29年4月～

【②活動実績】平成29年 5件(内容:草刈り)
平成30年 13件(内容:草刈り)
平成31年 31件(内容:買物支援)
令和 2年 9件(内容:草刈り、買物支援)
令和 3年 21件(内容:草刈り、買物支援)
令和 4年 46件(内容:草刈り、買物支援)
令和 5年 37件(内容:買物支援、通院支援)

【③通院課題】病院までの距離、待ち時間など



買物ツアー

あらたに会：買物ツアーのしくみと流れ

- ・活動日：第1.3 水曜日（月2回）
- ・利用料：100円（あらたにカフェ コーヒー代）
- ・行き先：国東町内商店 ※カフェにて「今日は、どこのお店に行くかえ？」
- ・利用者：5名（実人数）
- ・送迎体制：利用者2名（送迎車：1台） 利用者3名以上（送迎車：2台）
- ・送迎車：自家用車（マイカー）※自動車専用保険加入対応
- ・送迎スタッフ数：8名 ※訪問型サービスBより奨励金等支出
- ・年1回 安全運転講習会 ※国東自動車学校にて

●タイムスケジュール

【①自宅へ	利用者お迎え】	9:00
【②あらたにカフェへ	利用者送り】	9:10
【③あらたにカフェで	一緒にコーヒー】	10:00
【④あらたにカフェ出発	商店へ送り】	10:10
【⑤町内商店で	皆で一緒に買物】	10:50
【⑥町内商店から	自宅へ送り】	11:00

走行距離：自宅⇔あらたにカフェ（往復：4km）

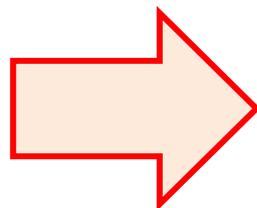
走行距離：自宅⇔町内商店（往復：20km）



ステップ③ 活動背景 (R3. 4/1～バス便数減)



路線バス
(週5回)



コミュニティ
バス
(週1回)

通院者の困り “移動手段が心配”

ステップ③

状況確認 (映像：40秒)



互助送迎・公共交通による通院支援の背景

「タクシーが減って、**利用できない**」

ステップ③ 公共交通と互助送迎による通院支援【映像：50秒】



令和5年11月6日 **通院支援** **初回実施**

あらたに会：通院支援の活動のしくみと流れ

- ・活動日：利用者のニーズに基づく、事前予約制
- ・利用料：片道100円（場所：利用者自宅～国道沿いの最寄りのバス停）
- ・行き先：バス停
- ・利用者：3人
- ・送迎体制とマッチング：1：1で、送迎部長が電話申込窓口で各行政区送迎スタッフに活動調整連絡。
- ・送迎車や送迎スタッフ：自家用車（マイカー）※自動車専用保険加入対応
- ・送迎スタッフ数：8名 ※訪問型サービスBより奨励金等支出

【①自宅へ	利用者お迎え】	8:00
【②田深バス停へ	利用者送り】	8:30
【③田深バス停で	バス乗車】	8:45
【④バスにて	市民病院到着】	9:26
【⑤国東市民病院にて	診察】	
【⑥市民病院前で	バス乗車】	13:45
【⑦田深バス停で	利用者お迎え】	14:13
【⑧自宅へ	利用者送り】	14:30

総走行距離：自宅⇄市民病院（往復：40km）

互助送迎距離：自宅⇄田深バス停（往復：14km）

5時間

活動時間以外は
“自分の生活時間”



国東市住民主体の移動支援

ステップ① “居場所づくり” から始まる “送迎支援”

ステップ② “居場所づくり” を通じた “買物支援”

ステップ③ “公共交通” と “互助送迎” による 通院支援

段階を踏んで、**拡充★**

国東市住民主体の移動支援

市内8校区(全16校区)で実施中

メニューと内容

①道路運送法における“住民主体の移動支援”位置づけの理解 **「移動支援勉強会の開催」**

- ・「許可」、「登録」、「許可・登録不要の互助活動」3種類における位置づけ理解。
- ・「行政－社協－地域」が一体となつての共通理解必要性。

②地域における仕組みづくり支援“活動者の負担軽減” **「送迎支援、買物支援要項整備」**

- ・利用者保険、活動者保険、活動自動車専用保険加入支援、レンタカー導入支援。
- ・活動者登録書、利用者・利用家族同意書整備。緊急対応、事故対応等もルール化を図る。

③利用者・活動者“相互の安心・安全”のための **「安全運転者講習会の開催(毎年1回)」**

- ・国東自動車学校(市営)にて、座学と送迎サポート実践を学ぶ場。(地域主催)
- ・参加の声掛けにより、新たな活動者の担い手確保にも繋がっている。

国東市

支え合い活動

“運営支援” 及び “伴走支援”

体制

【運営支援策 その①】

平成29年度創設 国東市一般介護予防事業地域支え合い補助金 「居場所」

	事業区分	補助対象経費	補助基本額(A)		補助上限額
			1回あたりの基準額(A)	固定費(1月)(B)	(1月)(C)
公民館以外の施設を使用して支援を行う団体	ミニデイ	事業に必要な報償費、旅費、需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費、燃料費、修繕費)、役務費(通信運搬費、保険料、手数料)、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金、その他、事業の実施に必要と市長が認めたもの。	14,500円	22,000円	150,000円
	カフェ		5,000円	無	
公民館を使用して支援を行う団体	ミニデイ	事業に必要な報償費、旅費、需用費(消耗品費、印刷製本費、光熱水費、燃料費、修繕費)、役務費(通信運搬費、保険料、手数料)、使用料及び賃借料、備品購入費、負担金、その他、事業の実施に必要と市長が認めたもの。	14,200円	22,000円	144,600円
	カフェ		4,700円	無	
	送迎支援 (補助対象の事業への参加者送迎用の自動車について)	レンタル料:自動車レンタル費用の実費についてのみ(一台限り) 保険料:団体または団体に登録する会員等が所有する自動車及び、団体からの依頼を受け送迎支援のために自動車を無償で貸し出す者が所有する自動車			50,000円 1台当り、移動日1日当り1,150円

備考

- 1 ミニデイの1月の補助基本額は、一回あたりの基準額(A)に回数を乗じた額と固定費(B)を合算した額とする。ただし、活動開始又は再開から6か月の間で1月1回の開催の場合、固定費(B)は1/2で除した額とする。
- 2 カフェの1月の補助基本額は、一回あたりの基準額(A)に回数を乗じた額とする。
- 3 ミニデイは活動開始又は再開から6か月の間は1月1回、それ以降は1月2回から4回の開催を、カフェは1月4回以上14回以下を補助対象とする。ただし、それ以上の開催を妨げるものではない。
- 4 カフェとミニデイを同日に開催することはできるが、開催時間は重複することができない。
- 5 送迎支援における自動車レンタル費用に係る補助基本額は、現に要した費用とし、50,000円を月額の上限とする

【運営支援策 その②】

令和3年度創設 ちょいかせ (訪問型サービスB) 助成金 「生活支援」

ちょっと加勢して
くれんかえ～

困ったときは
お互いさまじゃあ

ちょいかせ事業

(国東市住民主体による介護予防・生活支援サービス《訪問型B》事業)

ボランティア活動の奨励と生活支援を互助の力で解決する地域づくり醸成のため、生活援助や外出支援等の生活支援を行う団体の活動に対し、助成を行います！

【基本額】3つから選択

①おうちへちょいかせ 生活援助 (掃除、洗濯、ゴミ出し、買物代行等)



60,000円/年
(5,000円/月)

②おそとへちょいかせ 外出支援 (買物付添、通院付添等)



60,000円/年
(5,000円/月)

③まとめてちょいかせ おうちへ+おそとへ
まとめてちょいかせ！ 120,000円/年
(10,000円/月)

【加算】

①ボランティア奨励加算 (10名以上～)

ボランティアを行う活動者の人数に応じた加算
※申請時活動者登録用紙、予算書提出
年度途中増加の場合変更可

500円×活動者数/月

※加算上限額

行政区単位
60,000円/年
(5,000円/月)
複数行政区単位
120,000円/年
(10,000円/月)
地区公民館単位
480,000円/年
(40,000円/月)

②通いの場加算 (年48回以上 ※選1回開催)

通いの場を生活支援と一体的に運営する場合加算
※由交付金・補助金の交付を受けて活動している活動は対象外

60,000円/年 (5,000円/月)

介護予防チャレンジ奨励補助 (年3団体まで) 120,000円/年

上記以外の内容で介護予防に資する取組みを企画実行した場合の補助
※申請時に企画書及び予算書、報告時に報告書と決算書提出

【例】

買物代行 (月2回) + ゴミ出し
☆おうちへちょいかせ 60,000円/年 (5,000円/月)

国東市住民主体による介護予防・生活支援サービス事業

訪問型B (ちょいかせ事業)

【内容】

ボランティア活動の奨励と生活支援を互助の力で解決する地域づくり醸成のため、生活援助や外出支援等の生活支援を行う団体の活動に対し、助成を行う

生活援助 (おうちへちょいかせ) …掃除、洗濯、ゴミ出し、買物代行等
外出支援 (おそとへちょいかせ) …買物付添、通院付添等
生活支援 (まとめてちょいかせ) …生活援助と外出支援をあわせて生活支援とする

通いの場 …趣味活動や生活活動、運動等を通して高齢者の生きがいや外出の機会を創出し、地域住民の交流を図る多様な活動の「場」

【基本額】

おうちへちょいかせ (生活援助のみ) 60,000円/年 (5,000円/月)
おそとへちょいかせ (外出支援のみ) 60,000円/年 (5,000円/月)
まとめてちょいかせ (おうちへ+おそとへ) 120,000円/年 (10,000円/月)

【加算】

ボランティア奨励加算 500円×従事者数/月 (ただし、10名から)
通いの場加算 60,000円/年 (5,000円/月)

※加算上限額

①行政区 60,000円/年 ②複数行政区 120,000円/年
③地区公民館 480,000円/年

介護予防チャレンジ奨励補助 (年3団体まで) 120,000円

上記以外の内容で介護予防に資する取組みを企画・実行した場合補助を行う。
※申請時に企画書及び予算書、報告時に報告書と決算書提出

【相談のあった4地区 (はどうか)】

松原⇒おそとへちょいかせ 60,000円申し込み (1-1が該当)
通いの場活動 60,000円加算 (1-2と2が該当)

大添⇒まとめてちょいかせ

120,000円申し込み (生活援助1-3、1-4該当、外出支援1-1、1-2該当)
ボランティア加算60,000円上限 (500円×10名×12か月)

恒清⇒まとめてちょいかせ

120,000円申し込み (生活援助1-3該当、外出支援1-2該当)

ボランティア加算60,000円上限 (500円×10名×12か月)

富永⇒おうちへちょいかせ

72,000円申し込み (生活援助1-1該当)

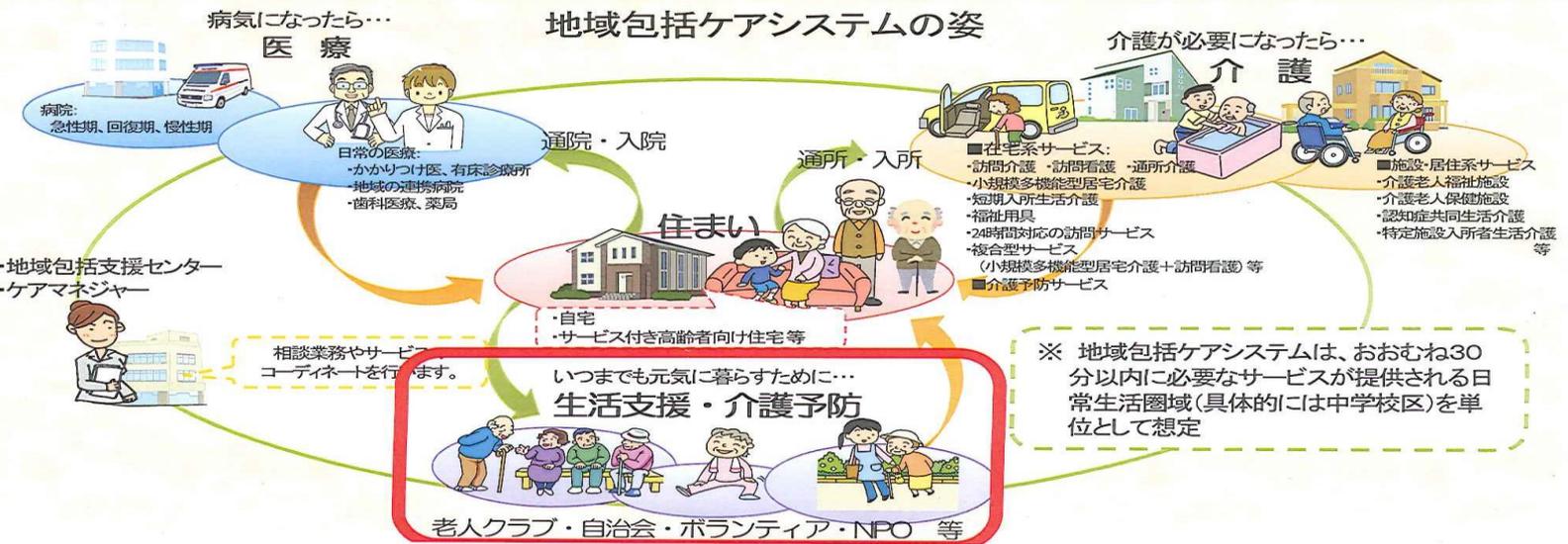
※恒清・富永合同団体の場合

まとめてちょいかせ 120,000円申し込み
ボランティア加算120,000円上限 (500円×20名×12か月)

地域包括ケアシステムの構築 地域医療介護総合確保法(H26施行)

地域包括ケアシステムの構築について

- 団塊の世代が75歳以上となる2025年を目途に、重度な要介護状態となっても住み慣れた地域で自分らしい暮らしを人生の最後まで続けることができるよう、**医療・介護・予防・住まい・生活支援が包括的に確保される体制(地域包括ケアシステム)の構築を実現。**
- 今後、認知症高齢者の増加が見込まれることから、認知症高齢者の地域での生活を支えるためにも、地域包括ケアシステムの構築が重要。
- 人口が横ばいで75歳以上人口が急増する大都市部、75歳以上人口の増加は緩やかだが人口は減少する町村部等、**高齢化の進展状況には大きな地域差。**
- 地域包括ケアシステムは、**保険者である市町村や都道府県が、地域の自主性や主体性に基づき、地域の特性に応じて作り上げていくことが必要。**



**高齢者の皆さんが、地域(自宅)で生活・暮らし続けていくため
 “生活支援” 仕組み構築が必要不可欠!**

国東市内支え合い活動

8地区(※市内全16地区) 4行政区

第1層:国東全域(1ヶ所)

約25,000人

【※寄ろう会(え):年3回開催 1ヶ所】

第2層:旧町 (4ヶ所)

約3,000~9,000人

【※語ろう会(え):年1~2回開催
国見、国東、武蔵圏域 3ヶ所】

第3層:旧小学校区(16ヶ所) 約400~5,000人

【※生活支援(カフェ、ミニデイ)・協議体 8ヶ所】

第4層:行政区(130ヶ所)

約20~600人

【※週一体操(35ヶ所):目的 運動機能向上】

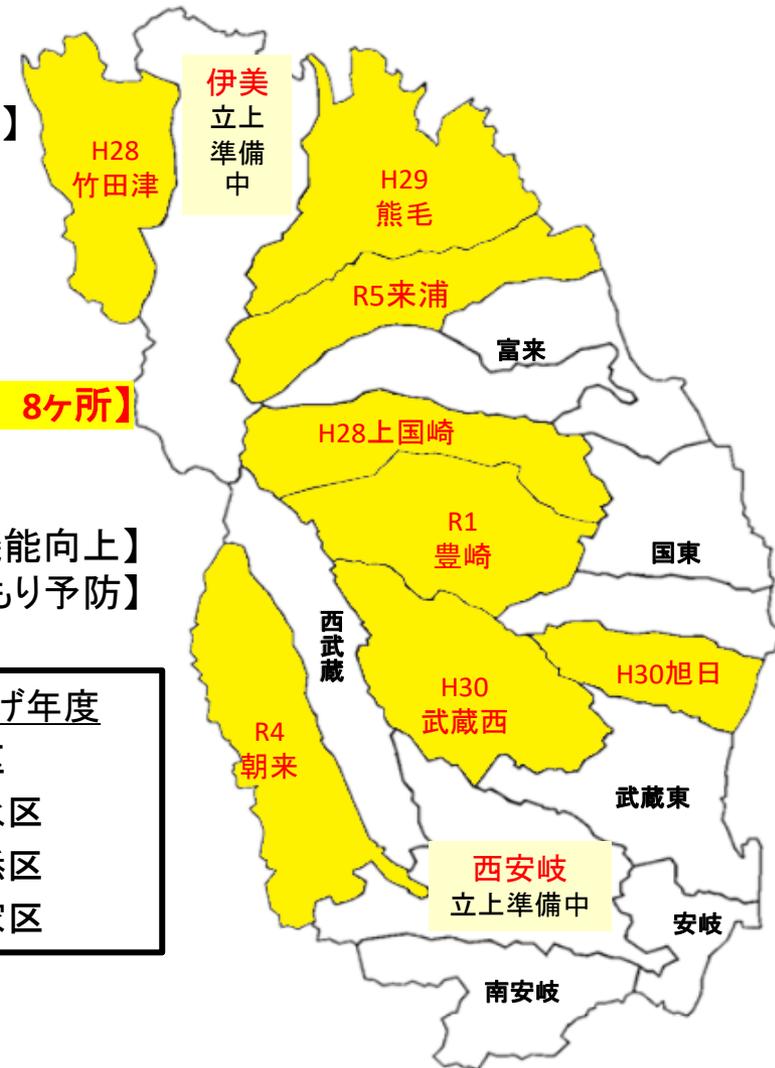
【※サロン(168ヶ所):目的 閉じこもり予防】

地区公民館単位:立上げ年度

H28:国見町竹田津
国東町上国崎
H29:国見町熊毛
H30:国東町旭日
武蔵町武蔵西
R1:国東町豊崎
R4:安岐町朝来
R5:国東町来浦

行政区(自治会)単位:立上げ年度

R3:国東町富来地区松原区
安岐町西武蔵地区富永区
安岐町南安岐地区大添区
R5:国東町国東地区今在家区



生活支援コーディネーター配置状況(6名)



第1層 (市内全域)
1名



松本 博晃

第2層 (旧町4圏域) ※第1層1圏域兼務
3名



花木 あおい



後藤 彰一



秋吉 諒子

第3層 (市単費：戦略)
2名



山下 柚希



岡寄 楓

令和6年度国東市地域支援サポーター・準地域支援サポーター 紹介

(配置目的：地域活性※地域イベント企画等 及び 就労的活動※グッズ作り等の促進を図る。)

○地域支援サポーター (4名)



【国見圏域】
谷 知英 たに ともひで さん
(国見町)
・カメラマン



【国東圏域】
熊田 圭子 くまだ けいこ さん
(国東町)
・国東オクスンジャーマネージャー
・つるがわラジオパーソナリティ他



【武蔵圏域】
古川 杏菜 ふるかわ あんな さん
(武蔵町)
・AEAJアロマセラピーアドバイザー
・フィジセラピスト(運動整体師)



【安岐圏域】
岩切 千佳 いわきり ちか さん
(安岐町)
・七島蘭工芸作家

○準地域支援サポーター (2名)



今田 史 いまだ ふみ さん
(国東町)
・ボディケアサロン経営
・元地域おこし協力隊



越名 秀樹 こしな ひでき さん
(武蔵町)
・デザイン事務所経営
・元地域おこし協力隊

大切にしているポイント①

“協議体” (月1回)



竹田津 “かもめ”



くまげ “大輪”



来浦 “サンサン”



上国崎 “あらたに”



豊崎 “一村一心”



旭日 “あさひネット”



武蔵西 “武溪”



朝来 “あさぎ”

地域の皆で、地域の課題について

社協SCと地域支援サポーターさんも参加 協議する・話し合う場！ 31

大切にしているポイント②

行政と社協も 情報共有の定例会 (月1回)



毎月最終 月曜日 15～17時
(場所: 国東市役所 本庁)

地域の声を、社協SCが行政に届ける場！

行政(国東市福祉課長及び包括)も一緒に 悩み・考えてくれます！

国東市

支え合い活動

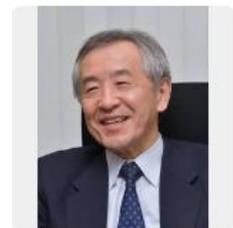
“地域の **キツカケ**メニュー”

ご紹介



1. 生活支援講演会

「テーマ：今後の医療・介護の動向について」（講師陣：故田中尚輝氏、原勝則氏、吉田一生氏）



2. 先進地視察

（行政・社協で事前視察、着地点を明確化）



（視察先：竹田市、日田市）

3. 全戸訪問ニーズ調査

（生活実態調査：困り事、したい事、担い手も把握）



4. 地域の強みと課題 説明会、スマホ教室

（介護予防・日常圏域ニーズ調査結果）

5. くらしを考える勉強会

（居場所・食事・移動、道路運送法理解、移動支援仕組みづくり）



1. 生活支援講演会 地域が主催

竹田津地区：101名（人口の10%）

上国崎地区：97名（人口の20%）



令和5年3月18日 開催分



令和7年1月25日 開催分

**東京等より講師を招聘するが
立上げ検討の地区公民館で開催(参加対象者の明確化)!**

2. 先進地視察 行政&社協 事前視察訪問!



ZAKI 者様 NPO 法人 KOUZAKI 稲生 亨 事務局長様



から学んだこと 【NPO 法人格について】
 (立死) から始まった 活動である事
 生委員さん 見守るだけでなく(地区役員など)
 見守る体制づくり【地域ネットワーク会議】



12月のお忙しい中
 視察受入を有難うございました!
 今後も KOUZAKI さんと
 情報交換 を 続けて行きたいです★

1. 平成28年度 竹田市

2. 平成29年度 大分市こうざき

先進地の方々に、実践に基づく 多くのノウハウをご教示頂く!
 同じ時間を 地域の方と ともに 過ごす★大切さ!

3. 全戸訪問二一ス調査 **【映像:20秒】**



地域の みんなが 考えてる事 と **思っている事** がわかった！

3. 全戸訪問二一ス調査

1世帯 1~2時間

訪問調査



顔見知りの方が調査員
「困り事あったら、言ってな〜」

ニーズ調査項目一覧表

問	対象	質問内容
1	20歳以上の方	あなたは、車・バイクの運転をしていますか？
2		あなたが外出する際のおもな移動手段は何ですか？
3		あなたは、週に何回ほど外出しますか？
4		あなたのご近所付き合いはどうしていますか？
5		あなたが日常生活で困ったときに相談するのはどなたですか？
6		あなたがもし生活に困った時に、相談できる機関をご存じですか？
7		住み慣れた上国崎で生活し続ける中で、不安に感じることはありますか？
8		子どもさんや親戚の方と連絡を取り合っていますか？
9		連絡手段はどのようにしていますか？
10		あなたは要介護認定を受けていますか？
11	65歳以上の方	介護保険の改正で、介護保険が地域づくりや介護予防に力を入れるようになったことを知っていますか？
12		食事はどのようにしていますか？
13		買物はどのようにしていますか？
14		通院はどのようにしていますか？
15		掃除や洗濯はどのようにしていますか？
16		あなたが普段から健康のために気をつけていることはありますか？
17		あなたの現在の楽しみややりがいを感じていることはどんなことですか？
18		有償での生活支援サービスを提供する仕組みを検討しています。あなたが希望する生活支援サービスは何ですか？
19		生活支援サービスを受ける場合に、希望する依頼方法は何ですか？
20		生活支援サービスを受ける場合、どのくらいの頻度で利用したいですか？
21	有償でサービスを受ける場合、たとえば30分の外出支援(支援者が車に乗せて連れて行く場合)に対して400円の利用料は妥当だと思いますか？また、妥当と思わない理由を教えてください。	
22	気軽に立ち寄れる場があったら利用してみたいと思いますか？	
23	※利用したいと思わない方のみ 利用したいと思わない理由はどうしてですか？	
24	※利用したい方のみ 気軽に立ち寄れる場は、どのような場所であれば良いと思いますか？	
25	※利用したい方のみ 気軽に立ち寄れる場で、食事会をする場合に1食あたりどのくらいが妥当だと思いますか？	
26	あなたは、困っている方の支援や手助けなどのボランティア活動(有償サービス含む)へ参加してみたいと思いますか？	
27	20歳以上の方	あなたは、すでににかにボランティア活動(有償サービス含む)をしていますか？
28		有償での生活支援サービスを提供する仕組みを検討しています。あなたができる生活支援サービスは何ですか？
29		何か野菜を作られていますか？
30		野菜をつくりすぎて、食べきれない時はありますか？その場合、市場に出すくみがあれば利用しますか？
31		手芸や手作り石鹸、漬物や味噌などご家庭で何か作られていますか？
32		上国崎地区で 5月～6月中に暮らしを考える勉強会が開催されたことはご存じですか？
33		暮らしを考える勉強会は参加しましたか？
34		今後勉強会を開催した場合、参加しますか？
35		バスの利用をどう思いますか？
36		タクシーの利用をどう思いますか？

希望者数 把握！



できる人(したい事)把握！



活動 事業化へ！

	居場所 支援	食事 支援	移動 支援
希望者数	50名	40名	28名
できる人	32名	33名	56名

3. 全戸訪問ニーズ調査

市内8校区(全16校区)で実施済

メニューと内容

- ① **地域のみんなで協議・検討し、アンケート表を作成・完成する** **「地域独自アンケート作成」**
 - ・「こんなことやあんなこと」聞きたい。「あなたの困り事」、「あなたが出来る事・したい事」
 - ・調査項目35～50個。「見やすいように・書きやすいように」A3横の用紙にて作成。記名式。
- ② **訪問調査で更なる信頼関係構築** **「アンケート調査のマニュアル・手順書作成整備」**
 - ・調査員2名1組体制。活動者保険への加入対応、調査員の方は有償ボランティア。
 - ・アンケート調査同意書整備。アンケート調査後の調査票は、社協へ持込・管理。
- ③ **第三者による、専門的かつ客観的な地域分析** **「ニーズ調査分析結果から事業選定」**
 - ・大分大学福祉健康科学部 岩野卓元講師(現非常勤講師)、現在オフィス立上げ代表。
 - ・第三者(外部)の専門的知見に基づく、視点からの分析・助言は大変参考になる。

①～③に関して“相談機関”として“大分県東部振興局”(県高齢化集落等補助金)の存在の大きさ！

4. 地域の強みと課題 説明会 【R6. 6/21資料】

令和4年度 介護予防・日常生活圏域ニーズ調査

評価・分析報告書 (介護予防・日常生活圏域ニーズ調査 概要版)

令和 5年 3月

国 東 市

地域介入にあたり “地域の強みと課題” 説明の場

■ 調査の内容 ■

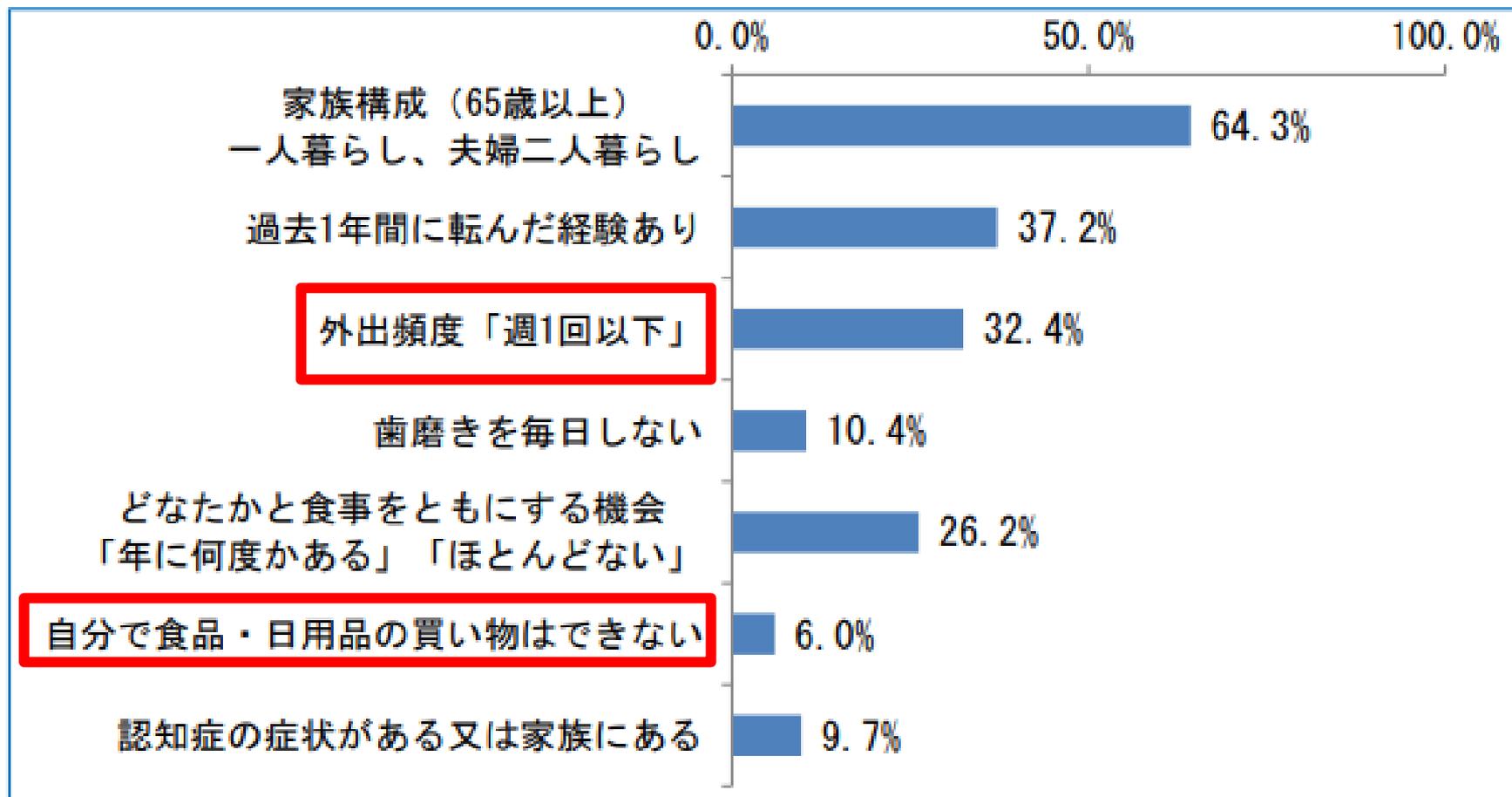
調査は、以下の方法により実施しました。

調査種別	介護予防・日常生活圏域ニーズ調査	
(1) 調査対象者 計(9,964人)	国東市内に住所を有する対象者で、要介護認定(要介護1~5)を受けていない65歳以上の方 悉皆調査	回収件数 6,893件 回収率 69.2%
(2) 調査方法	郵送配布、郵送回収	
(3) 調査期間	開始年月日 令和4年11月25日(基準日 令和4年10月31日) 終了年月日 令和4年12月20日	
(4) 日常生活圏域の設定	国東市では、地理的条件、人口、交通事情等により、4圏域を日常生活圏域として設定していますが、本調査の実施においては、地域ごとの特性を把握するため、旧小学校区の 18地区を設定 しています。 ◎国見圏域 竹田津、伊美、熊毛 ◎国東圏域 来浦、富来、大恩、上国崎、豊崎、国東、小原、旭日 ◎武蔵圏域 武蔵東、武蔵西 ◎安岐圏域 西武蔵、朝来、西安岐、安岐、南安岐	

【調査結果：国東市における地域課題】

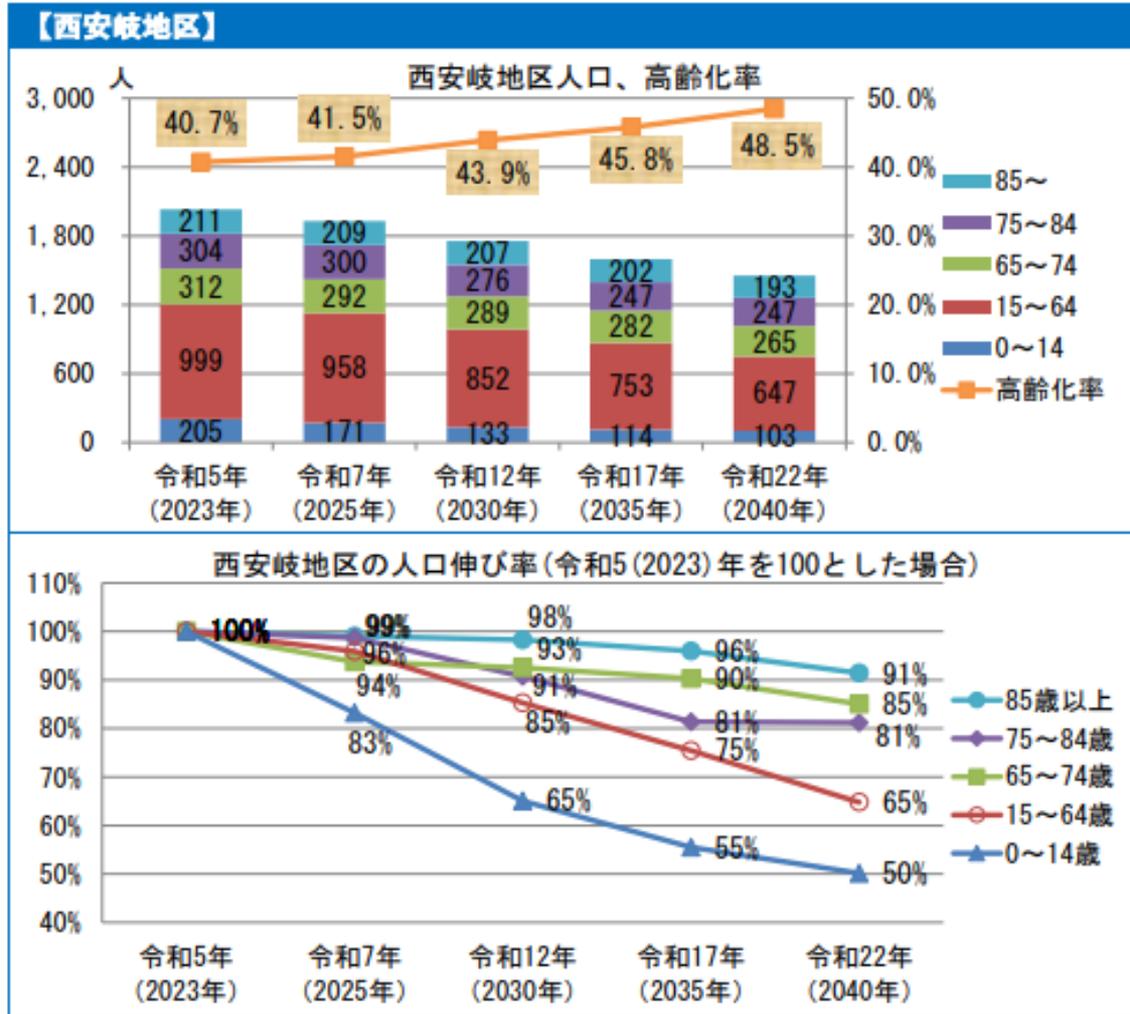
“移動等の問題”

○主な調査結果における特徴的な回答結果(市全体)



閉じこもり傾向の方: **2,233人**、買物できない方: **413人**

【安岐町西安岐地区 の高齢化率等】



・**高齢化率**
40%超え
上昇傾向!

・**85歳以上**
医療・介護ニーズ
を必要とする方
減少!

高齢化率は上昇すると推計される。人口伸び率は全年齢で減少すると推計される。

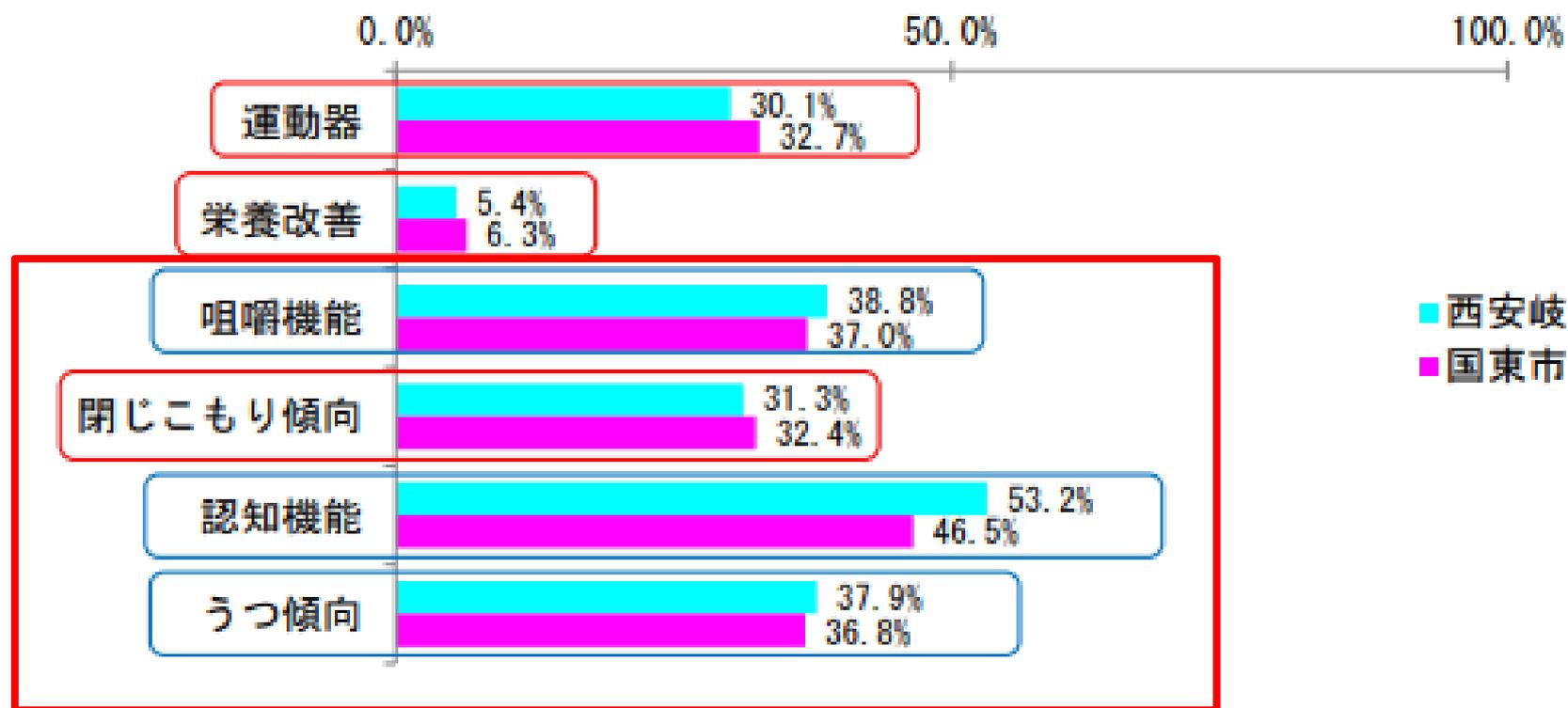
〔日常生活ニーズ調査の結果／要介護6リスクの比較〕

「運動器」「栄養改善」「閉じこもり傾向」リスクが市平均より低く、「咀嚼機能」「認知機能」「うつ傾向」リスクが市平均より高く、特に「認知機能」リスクの割合が市で2番目に高い地区である。

【西安岐地区の強み と リスク課題①】

〔日常生活ニーズ調査の結果／要介護6リスクの比較〕

「運動器」「栄養改善」「閉じこもり傾向」リスクが市平均より低く、「咀嚼機能」「認知機能」「うつ傾向」リスクが市平均より高く、特に「認知機能」リスクの割合が市で2番目に高い地区である。

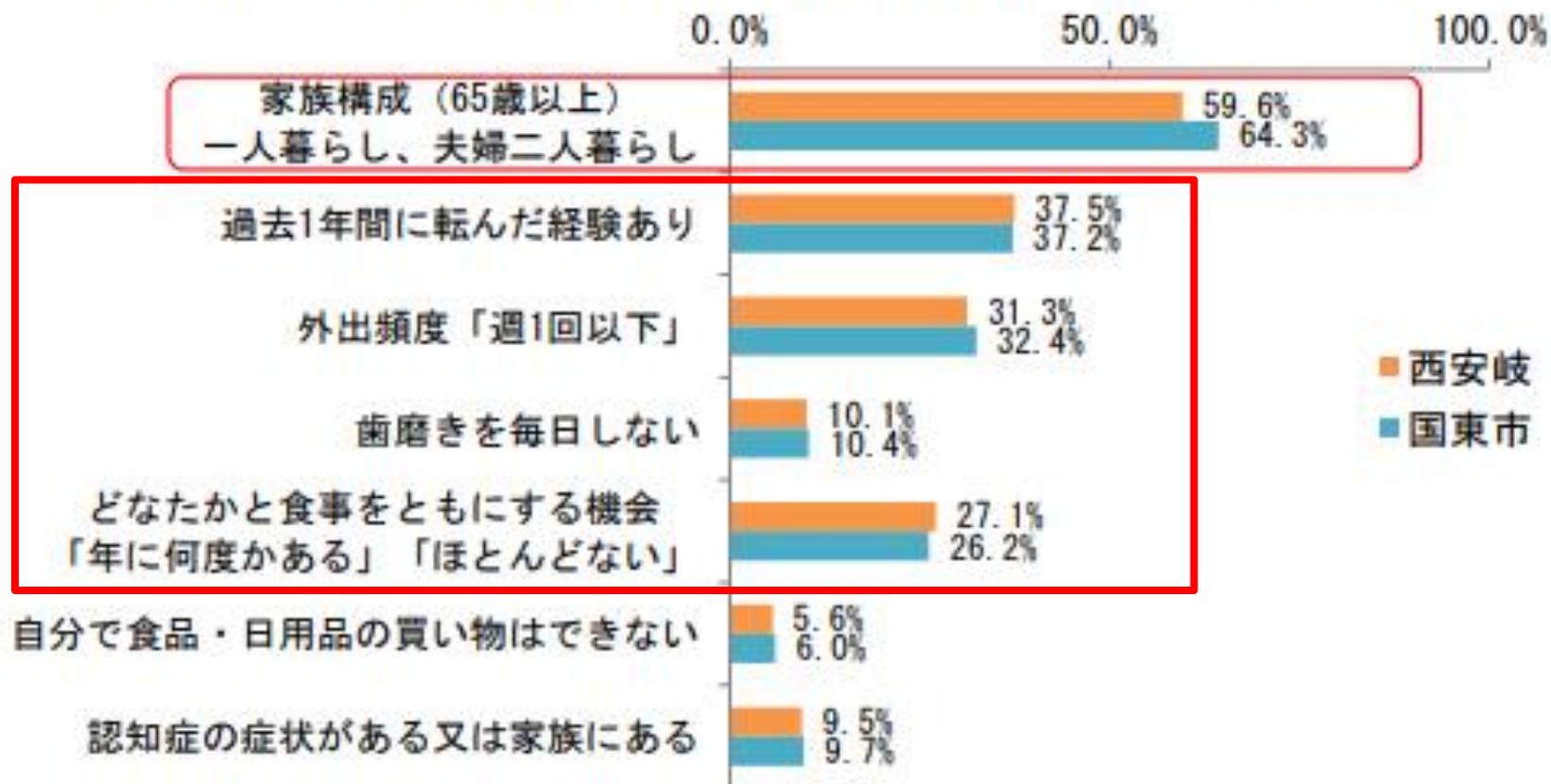


※強み：運動、栄養、閉じこもり傾向少と リスク課題：咀嚼、認知他

【西安岐地区の強み と リスク課題②】

【日常生活ニーズ調査の結果／主な調査結果の比較】

「一人暮らし、夫婦二人暮らし」の割合が市で2番目に低い地区である。



※強み: 独居等少ない 外出傾向 と リスク課題: 転倒歴、孤食傾向!

5. **くらしを考える勉強会** (月1回の頻度開催) **市内9地区目 立上げ挑戦中!**

にしあき元気会 くらしを考える勉強会 講座計画表

2024/11/20

西安岐地区で活動している、民生委員・児童委員われわれ8名で”にしあき元気会”を発足しました(発足日:令和6年7月19日)。”民生委員活動”の中で、直面している地域課題の解決に向けて、今年度に月1~2回程度の「くらしを考える勉強会」を企画開催しております。勉強会を基に、何が出来るのか考えて参ります。地域の皆様方のご理解とご協力の程、よろしくお願いたします。是非、ご参加ください!

STEP	日時	内容	講師	目的
1	地域づくり 7月30日(火) 10時半~12時	「子どもたちとの居場所づくり」 県内事例紹介 と 私たちが取組みたい事 【場所:国東市安岐総合支所 2階会議室】	大分県社協さん 西安岐民生さん	繋がりの大切さ
2	地域づくり 8月27日(火) 10~12時	「これからの地域づくり講演会」 地域運営組織による 支え合い活動 【場所:国東市安岐中央公民館 ホール】	大分大学経済学部 准教授 博士 山浦 陽一さん他	取組の意義
3	食事 10月16日(水) 10時~11時半	「栄養摂取の大切さと簡単な調理方法 について」 今後の居場所づくりでのメニュー検討へ	大分県 栄養士会 衛藤 寿恵さん	栄養の大切さ
4	食事 10月30日(水) 10時~11時半	「食品衛生 について」 今後の食に関する、衛生面の学びの場へ	大分県東部保健所 国東保健部 本田 颯子さん	衛生面の大切さ
5	口腔 11月8日(金) 10時~11時半	「口腔 と 健康について」 高齢者の口腔ケアのポイント集!	大分県 歯科衛生士会 有松 ひとみさん	口腔の大切さ
6	カフェ 11月下旬 10時~11時半	「美味しいコーヒー 淹れ方セミナー」 コーヒー豆の違いによって味の違いを知る	地元コーヒー豆 取扱い店の方	コーヒーの美味しさ
7	移動 12月13日(金) 10時~12時	「ライドシェアや道路運送法って、何?」 白タク行為にならない、移動支援あるんだ!	全国移動ネット 事務局長 伊藤 みどりさん	安全な送迎支援
8	地域づくり 1月25日(土) 10時~12時	「医療・介護保険制度の動向について!」 支え合い活動は、地域づくりなんだ!	国民健康保険 中央会 理事長 原 勝剛さん	互助の生活支援



支え合いの地域づくり

「学び、考え、行動へ」 土壌づくり & “仲間づくり” ! 48

【多様な主体が参画する事例】

国土交通省

令和6年度 共創・MaaS 実証プロジェクト

「共創モデル実証運行事業」採択分 ご紹介



国東市内支え合い活動

8地区(※市内全16地区) 4行政区

第1層:国東全域(1ヶ所)

約25,000人

【※寄ろう会(え):年3回開催 1ヶ所】

第2層:旧町 (4ヶ所)

約3,000~9,000人

【※語ろう会(え):年1~2回開催

国見、国東、武蔵圏域 3ヶ所】

第3層:旧小学校区(16ヶ所) 約400~5,000人

【※生活支援(カフェ、ミニデイ)・協議体 8ヶ所】

第4層:行政区(130ヶ所)

約20~600人

【※週一体操(35ヶ所):目的 運動機能向上】

【※サロン(168ヶ所):目的 閉じこもり予防】

地区公民館単位:立上げ年度

H28:国見町竹田津
国東町上国崎

H29:国見町熊毛

H30:国東町旭日
武蔵町武蔵西

R1:国東町豊崎

R4:安岐町朝来

R5:国東町来浦

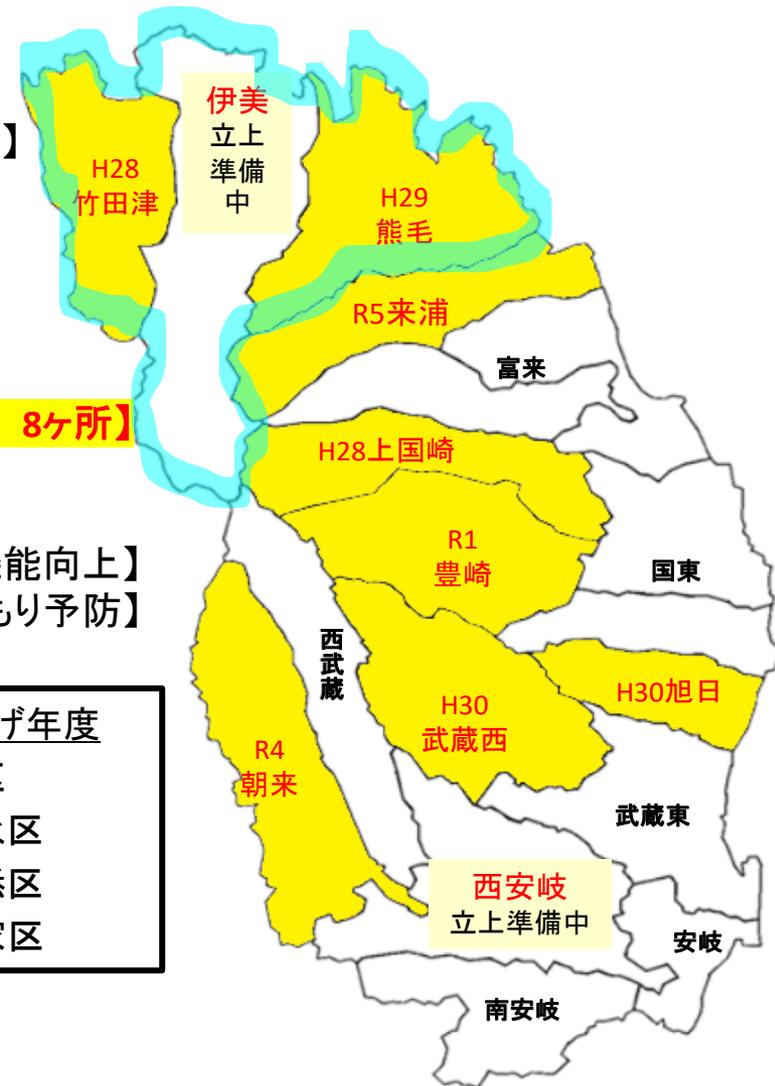
行政区(自治会)単位:立上げ年度

R3:国東町富来地区松原区

安岐町西武蔵地区富永区

安岐町南安岐地区大添区

R5:国東町国東地区今在家区



【令和7年1月末現在】 50

事業名: AI オンデマンド交通を活用した地域支え合い活動支援実証事業

事業名・内容
【資料4】

■ 国見地域オンデマンドタクシー実証運行事業

【目的】
 国見地域では、コミュニティバス・コミュニティタクシー、路線バスの利用者数が非常に少なくなっており、公共交通網の再編が課題となっていることから、地域全体を1台のオンデマンドタクシーで運行することにより、**運行の効率化と利便性の向上**を図ります。

【事業概要】

- 国見町全域にてオンデマンド型乗合タクシーの実証運行を実施
- 地域全体を2エリアに分け、1台の車両で全域をカバー
- コールセンターでの予約受付とAIを活用した運行管理システムの導入により、車両に搭載したタブレット端末に予約情報を集約し、効率的な乗合運行を実現！

Point → AIオンデマンドタクシーの実証実験は**県内初**

【地域公共交通の課題】

①利用者減少による空バスの増加	→ 予約制乗合による運行の効率化
②コミュニティバスの利便性の低さ	→ 週1日から週2日への運行日数の増加
③交通事業者の運転手不足	→ より少ない運転手数による運行の実現

◆ **既存の地域内交通（国見地域）**

- ・地域内完結の路線バス（毎日）2路線
- ・コミュニティバス（週1日）4路線
- ・コミュニティタクシー（週1日）1路線
- ・既存デマンド型乗合タクシー（週1日）2区域

➔

◆ **再編後の地域内交通**

オンデマンド型乗合タクシー
1台

（※エリア毎に週2日）

【事業費】 <当初予算額>
2,013万3千円

エリアの分け方（案）

担当課
政策企画課 企画係
☎ 0978-72-5161（直通）

7路線2区域の地域内交通を ⇒ オンデマンド型乗合タクシー1台へ再編！

これまでの経過

① これまでの経過について

国見地域では、人口減少に伴い、公共交通の利用者数減少が顕著になっており、路線バス西方寺線（令和4年3月末）、岐部線（令和6年3月末）、赤根線（令和6年9月末）と民間路線バスの廃止が進んでいる。市の運行するコミュニティバス・コミュニティタクシーおでかけ号も国見地域7路線（5路線、2区域）の令和5年度の年間延べ利用者数は661人、片道1便あたりの平均乗車人数は0.98人とほとんど利用がされない状況となっている。

このような状況を鑑み、より効率的な運行と利便性の向上を図るべく、国見地域全体をオンデマンド交通による再編を検討し、令和6年度事業として「国見地域オンデマンドタクシー実証運行業務委託（以下、実証運行業務）」事業を進めており、令和6年10月から令和7年3月まで実証運行を実施するもの。

【おでかけ号の地域別利用状況】 令和5年4月から令和6年3月まで

地域別	路線数	延べ利用者数	平均乗車人数 (片道1便あたり)
国見町	7 (5 路線、2 区域)	661 人	0.98 人
国東町	8 路線	3,940 人	4.41 人
武蔵町	4 路線	1,731 人	4.17 人
安岐町	7 路線	2,620 人	3.56 人
合計	26 (24 路線、2 区域)	8,952 人	3.28 人

国東市内他地域と比べ、**国見町利用者少ない!** 0.98人

運行概要

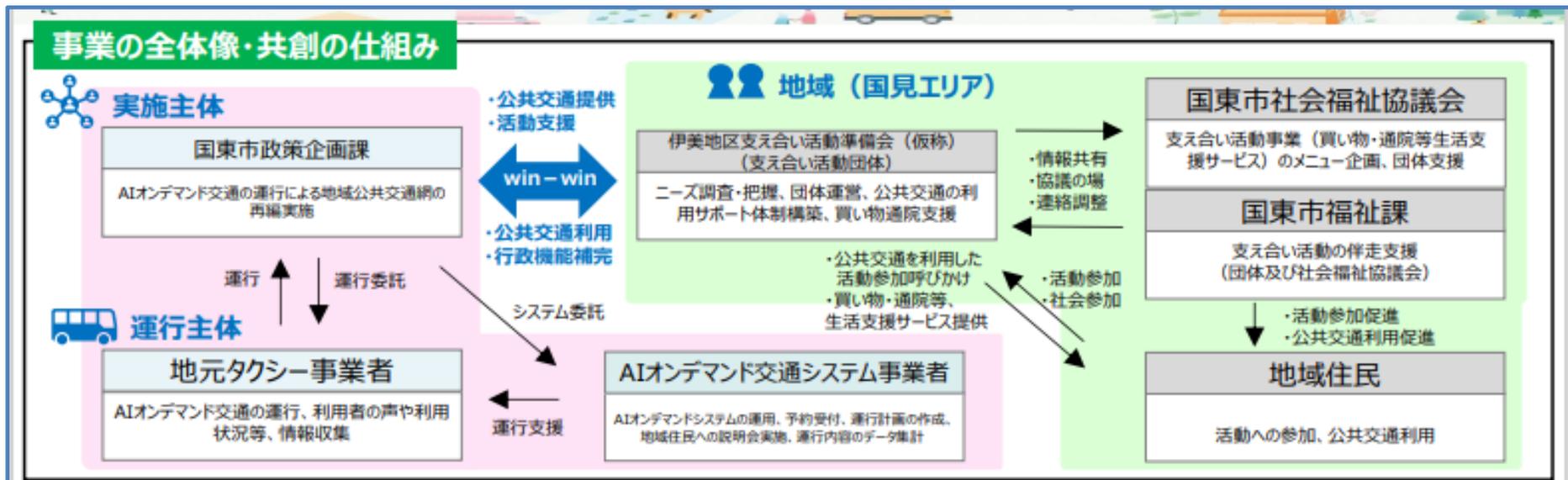
R6.10月～



黄色点線を境に運行区域を二つに分けて、1台の車両で各エリア内限定にて週2日間の運行。

- 名称 チョイソクにさき くにみ号
- 運行日数 月曜日から木曜日まで週4日間。
月・水「竹田津・伊美エリア」、火・木「岐部・熊毛エリア」
- 運行時間 午前8時30分から午後16時30分（30分前予約締切）
- 予約時間 月～木の午前8時00分から午後16時00分
- 運賃 1回の乗降につき200円。
- 乗降地点 伊美地域の各商店や病院等、目的となる場所を中心に国見町内に約200箇所を設定。各集落における乗降地点については、ゴミステーション等を停留所として設定。町外へは路線バス停留所にて路線バスへ接続する。

事業の全体像・共創の仕組み (市政策企画課公共交通、事業者、地域、市社協、市福祉課)



取組の詳細

(地域の関係者との連携・協働)

・市は交通事業者と協同しAIオンデマンド交通の導入により利便性の向上を図る。伊美地区支え合い活動準備会は団体の発足を図り運営主体として地域住民にAIオンデマンド交通の利用及び活動への参加を促す。社協・市は団体活動の運営支援のほか、団体と協同し、買い物・通院支援等の事業企画（付添、同行、代行）から実施までを支援する。公共交通の再編をキッカケに、交通・福祉・住民団体の連携により地域住民の日常生活の困りごとを解決し、持続可能な公共交通のモデルを構築する。

(実証事業により見込まれる効果)

・AIオンデマンド交通の導入により、自宅近くでの送迎サービスと地域ボランティアによる買い物・通院等付添サポートの組合せによる相乗効果が発揮され、公共交通の利便性向上と住民生活の質の向上が共に期待できる。結果として課題であった交通手段がないことで参加できない地域住民（そのような住民ほど買い物や通院サポート等、生活支援を必要としている）を活動に取り込み参加者を増加させ、自力での外出が困難かつ買い物や通院に不安がある住民を減らし、社会参加を促すことに繋がる。効果を確認した後、国見地域他団体への横展開を検討し、課題となっている互助の輸送による住民負担を軽減するべくAIオンデマンド交通と互助の輸送を連携させ、他団体の活動活性化に繋げる。

運行事業者のメリット: 「システム導入」による、事務員の不足解消!
住民のメリット: 運行日 週1回から週2回へ! 停留所 バス停から最寄りゴミステーションへ!

AI オンデマンド交通の概要

③国見地域にて運行予定のオンデマンド型乗合交通の概要について

登録された利用者から乗車依頼を受付し最適な乗り合わせと経路を計算
目的地まで乗り合い送迎でお運びする仕組み



※システム事業者提供図

利用するには、**事前登録**が**必須の条件**(手続き大変)



①区長文書（回覧板）にて、利用パンフレット全戸配布するも「何か区長文書に、入っていたなあ～（程度）」



市公共交通担当

社協SC

民生委員・児童委員

現利用者の方々

②社協生活支援コーディネーターが民生委員・児童委員と調整
民生委員・児童委員さんの声掛けで「現利用者が、直ぐに集まる」

利用登録者を一定数確保

R6.10月～

⑦運行状況データについて
 【主要データ一覧推移】（令和6年10月～令和7年1月）

	登録者数 (人)		利用者数 (人)		予約件数 (件)		利用経験者数 (人)	
	実績	前月比	実績	前月比	実績	前月比	実績	前月比
10月	130	-	21	-	74	-	21	-
11月	189	+59 (139%)	27	+6 (129%)	93	+19 (126%)	33	+12 (157%)
12月	230	+41 (120%)	30	+3 (111%)	114	+21 (123%)	42	+9 (127%)
1月	239	+9 (104%)	28	-2 (93%)	130	+16 (114%)	45	+3 (107%)

・登録者数については、社会福祉協議会や地元支え合い活動団体の皆さんの協力のおかげで順調に増加。
 ・利用者数については伸び悩んでおり、登録者をいかに利用者へと繋げていくが課題。将来の不安があり登録される方が多い。
 ・令和7年1月以降においては、登録者数も伸び悩みつつある状況となっている。

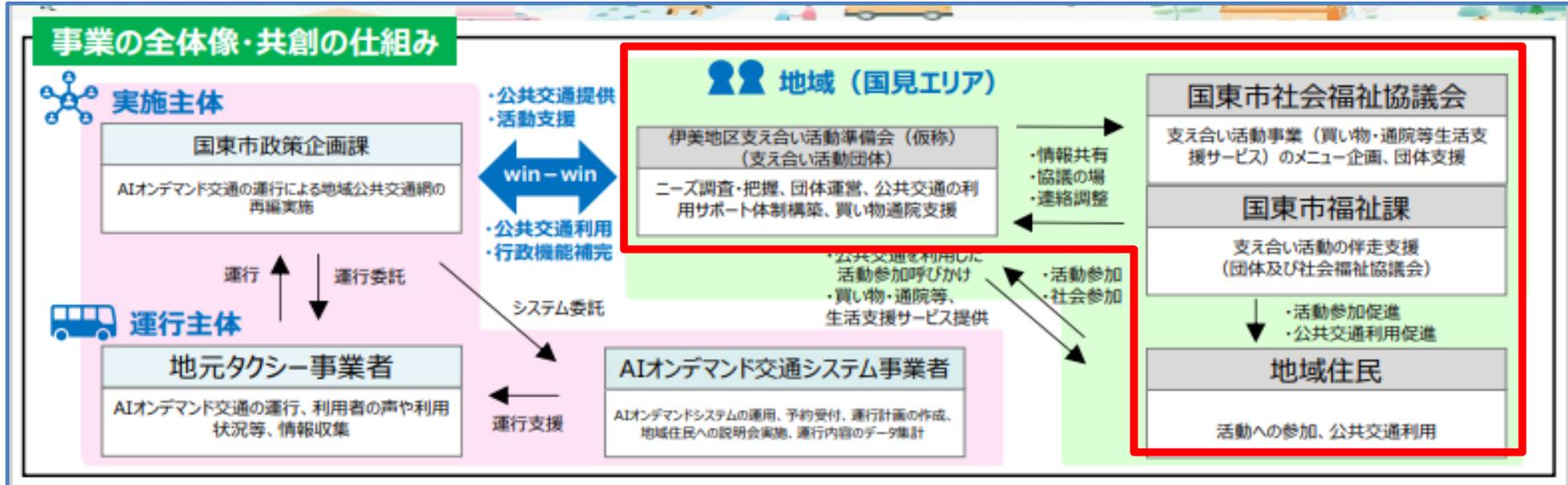
【参考】旧国見町エリアの人口（令和6年11月末時点）

	男性	女性	合計
国見町	1,572	1,776	3,348

【参考】国東市全体の高齢化率（令和6年11月末時点）

65歳以上	44.08%
70歳以上	35.67%
75歳以上	26.27%

毎月：20～30人の**利用者実績**に繋がる！



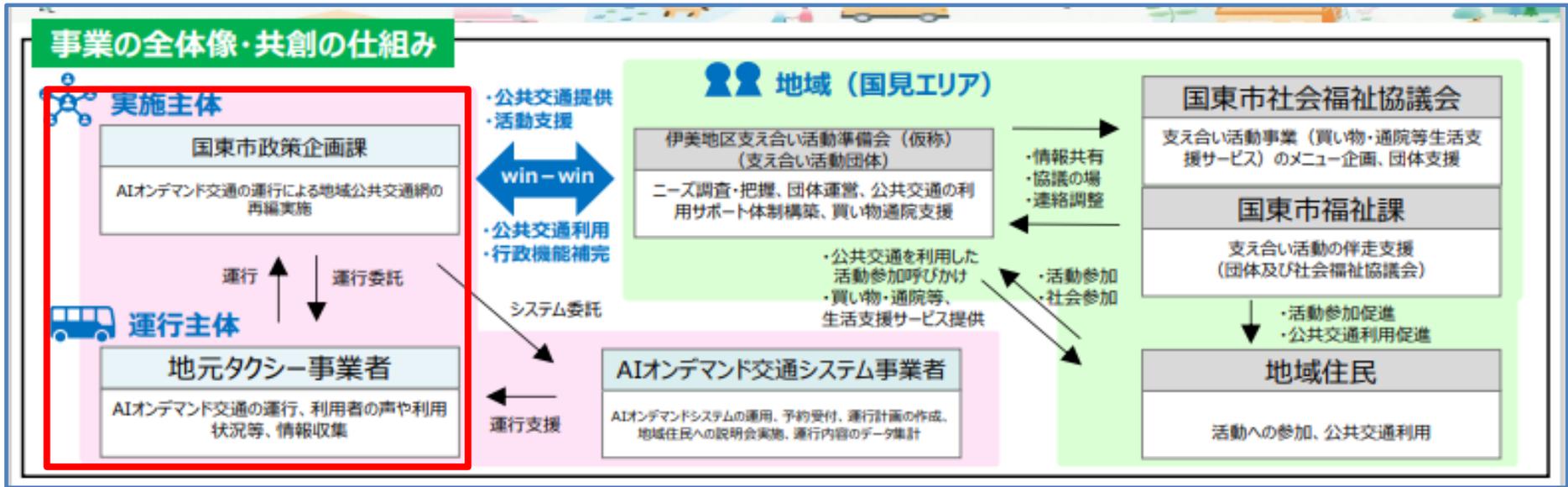
国見地域の公共交通網の再編を実施するにあたり、市が新たなモビリティを準備するだけでは、従前の通り利用のないままに持続可能な形にすることが難しいと考えていました。持続可能な公共交通とするためには、地域住民をいかに巻き込んで、地域と連携した取り組みにできるか、導入する新たなモビリティを「自分たちのツール」と捉えてもらい、主体的に関わってもらうことが非常に重要であるという認識の元、本事業の取組を推進してきました。

実際、AIオンデマンドタクシーの事前登録者240名の約半数は、社会福祉協議会や民生委員、支え合い活動団体の皆さんの声掛けにより登録いただいたものであり、登録用紙の書き方から、利用の仕方の説明等、地域の皆さんのサポートが利用のハードルを下げ、利用促進に大きな効果発揮したことは間違いありません。

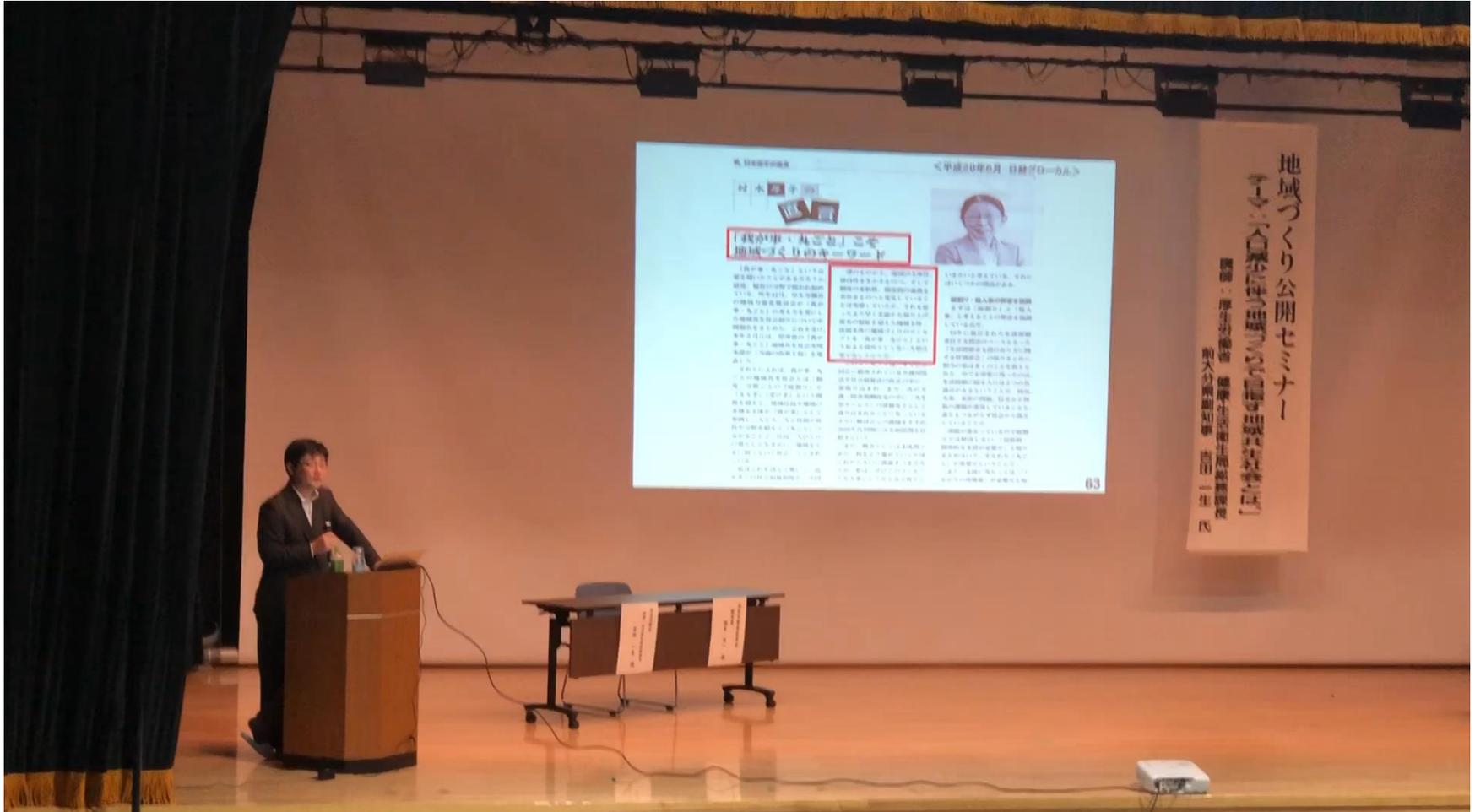
また団体の活動の場への移動手段としても活用することにより、通院や買い物だけでなく、公共交通を利用したおでかけの目的作りも実施することができ、利用者からは嬉しい声をいただいています。一人で利用することが難しい方に対しては、同乗しての付添い支援といった、サポート体制づくりも進めているところです。

国東市にとって、「地域における持続可能な公共交通のモデル」とするべく、共に取組んでいきたいと考えています。

国東市社協 生活支援コーディネーター 「連携してみて」



共創Maasをキッカケに、地域公共交通会議に出席！



連携 のためには、「相互の事を考え合う」

今後は **繋がる力!**

【略歴】 吉田 一生氏

R3. 大臣官房参事官(救急・周産期・災害医療等担当)

R4.7月 大分県副知事

R6.4月 厚生労働省 健康・生活衛生局総務課長

国見町伊美地区 R7.2/22 前・大分県副知事 吉田一生氏 講演会開催！

**吉田 大分県副知事による
これからの 地域づくり講演会**

国東市内 での 支え合い活動
“介護予防・生活支援”も 広がりみせる中
厚生労働省から 昨年7月に大分県に着任された
吉田副知事をお招きし、国の動向をもとに
これからの “医療・福祉・介護・地域づくり”の
進むべき方向性をご講演いただきます。
是非、ご参加ください。

2024年
1月13日 土 14:00 ~ 16:30
会場：武蔵中央公民館 セントラルホール
参加費は、**無料**です！

講演
「我が事・丸ごとの地域づくり」
縦割りではなく、全世代型・全対象型の地域住民のつながる交流拠点や機会づくり、社会参加や就労を促進しながら地域課題解決に向けた仕組みづくりが必要な時代です。

講師：吉田 一生氏 (大分県副知事)

主催：くにさき地域応援協議会 寄ろう会
協賛：国東市在宅医療・介護連携推進運営会議
国東市社会福祉協議会 福祉支援課
お問い合わせ TEL: 0978-64-7100



**国見生涯学習センター
みんなんかん にて
14時開演！**

参考チラシ：令和5年度分

**国東市内支え合い活動地区
10地区目(全16地区)へ挑戦中！**

いいところ 九州・沖縄！



厚生労働省

九州厚生局

私たちの活動はまだまだ現在進行中です。これからも地域のみなさんと一緒に挑戦していきます。誰でもどこでも**気軽**にはじまる『介護予防・生活支援』を目指して！ぜひ一緒に頑張りましょう。

大変貴重な機会を、ありがとうございました。



寄ろう会（え）（大分県国東市）(@yoroue2023) • Instagram写真と動画

【参考資料】

「国東つながる暮らし共通WEBサイト」
ご紹介（※コロナ禍に誕生した事業）

- 🌳 地域の人々
- 🏠 イベント・体験ツアー等
- 📍 国東に暮らすブログ
- 🛒 オンラインショップ
- ❓ よくある質問
- 📺 マスコミ・視察
- 🔗 リンク集
- ✉️ お問い合わせ

国東 暮らし 暮らす

kunisaki life

海・山・川・歴史、そして繋がる人々の暮らし

「野菜がたくさん採れたけん
持ってきたわ ほら魚も。
あとで買物も行くけん一緒にいこうえ」
そんな昔ながらの会話が今も続く
大分県国東(くにさき)市。
自然と歴史、そして繋がり合う人々に
かこまれながら今日もゆったりと…
国東つながる暮らし。

お知らせ
news

2023.8.28日 **夏のボランティア体験月間**の取組みで市内中高生が！
支え合い活動に参加！！暑い中、ご体験頂き感謝しま
す。御礼！！★[かもめ インスタグラム](#)

2023.8.19日 **地域が取組む買物支援**！暑い中、スタッフの皆さんお
疲れ様です！！★[あさひネット インスタグラム](#)市内
で買物支援の取組みが**拡充**しようとしています！！

市内 全16地区 参画 (R5.12月完成!)



地域の人々
kunisaki people



市内には地域の人々でつくった地域のことを協議する会があります。
各会では地域を元気にする地域おこし活動をはじめ、高齢の方など
暮らしの困りごとを支援する活動など、地域の特性を活かした取り組みが行われています。
地域の人々にとってとても大切な居場所を是非のぞいてみてください。
会の活動や人々の表情、暮らしぶりに直接ふれることができます。

▼クリックすると各会のページにとびます



A	あらたに会	I	西武蔵ネット
B	かもめ	J	朝来ネット
C	大輪	K	南安岐活性化協議会
D	あさひネット	L	にしあきネット
E	武溪の会	M	そらにわ安岐
F	一村一心の会	N	くにさき・おわらネット
G	くのうらサンサン	O	むさしひがし
H	とみく	P	伊美ふれあいネット

市内全域 スマホ教室 開催中 (月1回)



国東市内では2021年2月から高齢の方など暮らしの困りごとを支援する支え合いの会でスマホ教室を始めました。今では、まだ支え合いの会が立ち上がっていない地域でも始め、市内全域に広がっています。

【実績：地区数、延べ数】 【WEBサイト参画：地区数】

R2：6地区	46名	WEBサイト参画：11地区★WEBサイト開設
R3：9地区	281名	WEBサイト参画：12地区
R4：13地区	429名	WEBサイト参画：全16地区☆多
R5：16地区	1,140名	

60代から80代まで、スマホの扱いを学んで遠く離れた親族・知人の方とも気軽に画像も交えて交流が持てるようになり、みなさんととても楽しまれて好評を得ています。進んでいく過疎化に備え、ITに親しみ生活の中で使えるよう、今後も内容を発展させスマホ教室を続けていきます。

地域の方々が インスタにて活動、情報発信中！

令和4年9月13日

総務省地域力創造グループ過疎対策室

令和4年度 過疎地域持続的発展優良事例表彰における総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞 の決定

総務省及び一般社団法人全国過疎地域連盟は、令和4年度の過疎地域持続的発展優良事例表彰における総務大臣賞及び全国過疎地域連盟会長賞を、以下のとおり決定しました。なお、表彰式については、10月20日（木）熊本県にて開催予定の「全国過疎問題シンポジウム2022inくまもと」において執り行う予定です。

○総務大臣賞

- ・根羽村（長野県根羽村）
- ・飛騨市（岐阜県飛騨市）
- ・特定非営利活動法人 阿波勝浦井戸端塾（徳島県勝浦町）
- ・くにさき地域応援協議会 寄ろう会（大分県国東市）

○全国過疎地域連盟会長賞

- ・美国・美しい海づくり協議会、余別・海HUGくみたい（北海道積丹町）
- ・五条ヶ丘活性化推進協議会（山梨県身延町）
- ・100プロ（広島県北広島町）
- ・特定非営利活動法人 あったかいよう（徳島県海陽町）



“WEBサイトを通じた”生活支援サービスの拡充

くにさき地域応援協議会“寄ろう会(え)”第1層協議体

国東つながる暮らしWEBサイト事業
<https://yoroue.com>

事業経緯と内容

- 1) 各地域活動の情報共有を課題解決
居場所づくり(カフェ、ミニデイ)や生活支援活動状況を他地域の情報入手の困難性を解消するために開設(令和3年4月)。
- 2) 各地域WEBページを住民が更新する
WEBページにInstagramを付加。住民自らが気軽に投稿・更新する設計。投稿のためのスマホ教室を市内全16校区で月1回開催中(~現在)。

市内全16校区がWEBサイト参画



事業のシステム

①共通WEBサイト制作
市内各16校区



②インスタ投稿
スマホ教室開催



③投稿を参考に
生活支援組立て・拡充



上記の取組が評価され、過疎地域持続的発展優良事例表彰 総務大臣賞受賞 令和4年10月20日